

紙あそび：クロカタゾウムシ



九州大学総合研究博物館
The Kyushu University Museum

ゾウムシ（象虫）はカブトムシやクワガタムシと同じ甲虫の仲間です。カタゾウムシの仲間はフィリピンを中心に生息するアジアを代表するゾウムシで、捕食者から身を守るとても硬い体にきれいな色や模様を持ち、宝石にもたとえられます。クロカタゾウムシは石垣島や西表島に分布し、色は例外的に真っ黒です。クロカタゾウムシを型にして、紙で真っ白なゾウムシペーパークラフトを作りました。お部屋に吊るして、光や影をうつしたり、色を塗ったり模様をつけてみてください。世界のどこかに同じ模様のゾウムシがいるかもしれません！？

2013年度 九州大学総合研究博物館特別展示「ゾウムシの世界」展 オリジナルペーパークラフト

作成：福原美恵子（九州大学総合研究博物館） 監修：丸山宗利（九州大学総合研究博物館）



本作品の利用許諾については、原作者のクレジットを表示し、かつ非営利目的であれば、改変したり再配布したりすることができます。詳しくはクリエイティブコモンズ CC BY-NC 2.1 JP のウェブページをご覧ください。
<http://creativecommons.org/licenses/by-nc/2.1/jp/>

紙あそび：クロカタゾウムシ 組み立て方



用意するもの：

ハサミ、定規、木工用ボンド（工作用り）、つまようじ、糸（テグス）

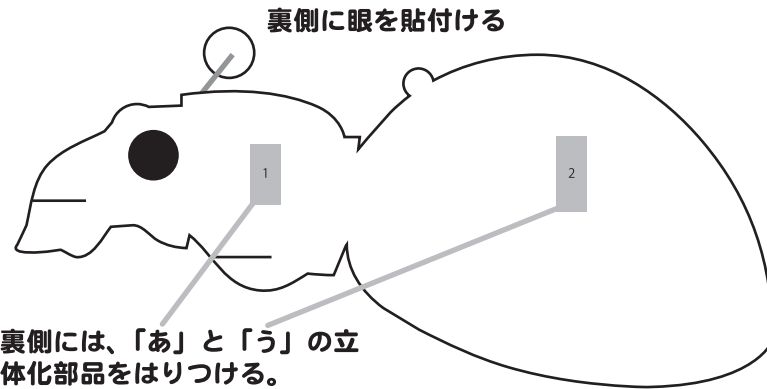
きれいにつくるには：

厚手の用紙 [表裏のないものがよい] に印刷、あるいは普通紙に印刷後、カーボン紙を重ねて画用紙やケント紙に写し取ります。切抜き線のまわりをざっとハサミで切り、そのあと切抜き線の内側をていねいに切り取ります。

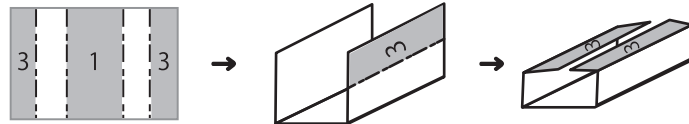
折り線は、定規をあてて折ります。

折りたたむことができるのでプレゼントにも適しています。

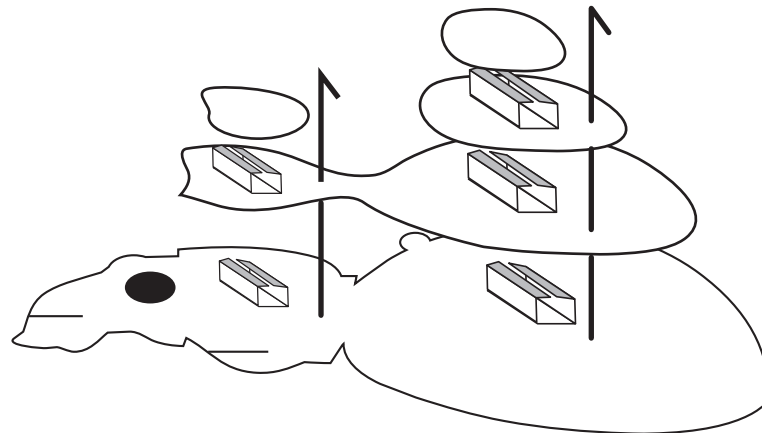
- 切り取り線
- - - 山折り線
- 谷折り線
- のりしろ



立体化部品は、折り線に定規をあてて、折り筋をつける。



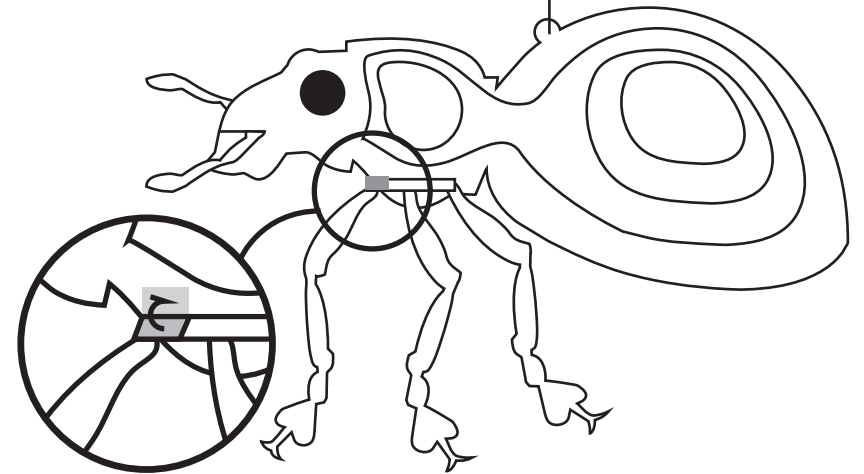
各番号と位置を確認し、各部品を重ねてのりづけする。
2 段目以降は図 A のように片側に倒してのりづけするとやりやすい。



最上段と、用紙の裏側は目印になるのりしろがありませんが、バランスをみながらのりづけする。

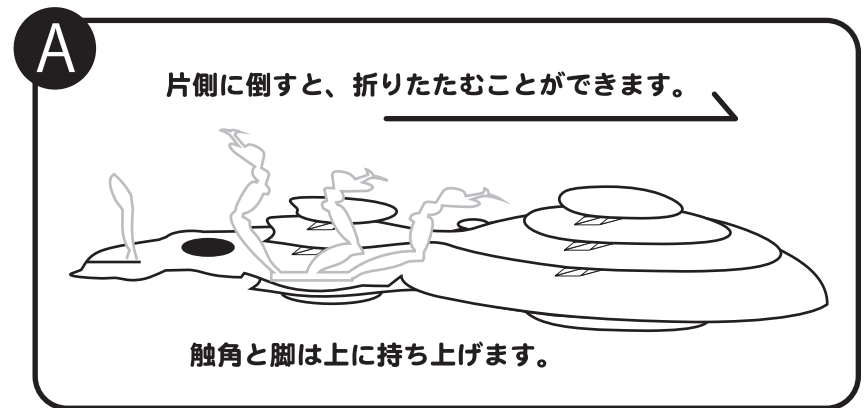
穴をあけて糸を通す。

触角と脚を差し込む。

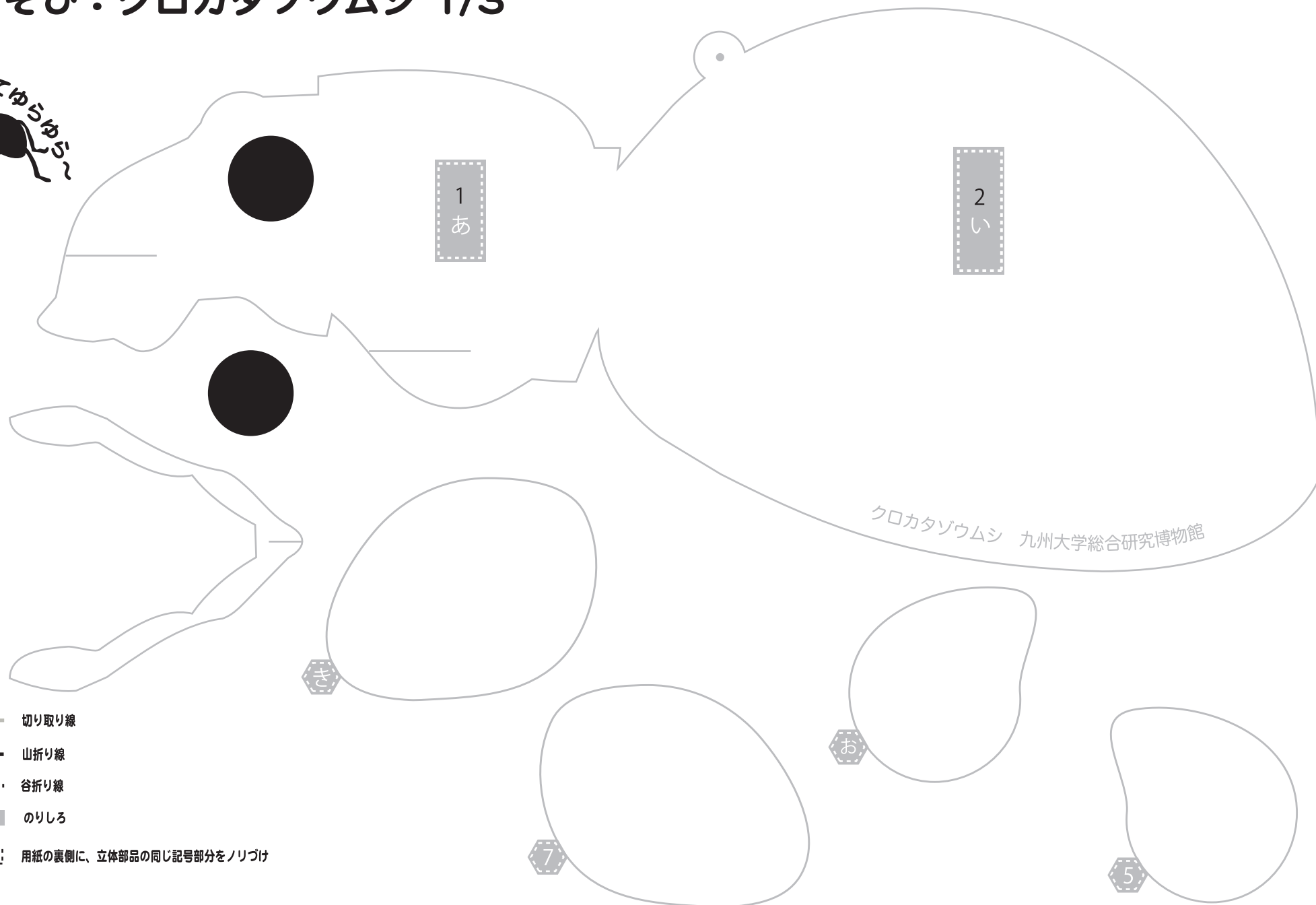


脚の基部ののりしろにのりをつけ、V字に折って胴体に貼付ける。

触角と脚は、紙にクセをつけたり軽く折って向きを整えると昆虫らしさが出ます。

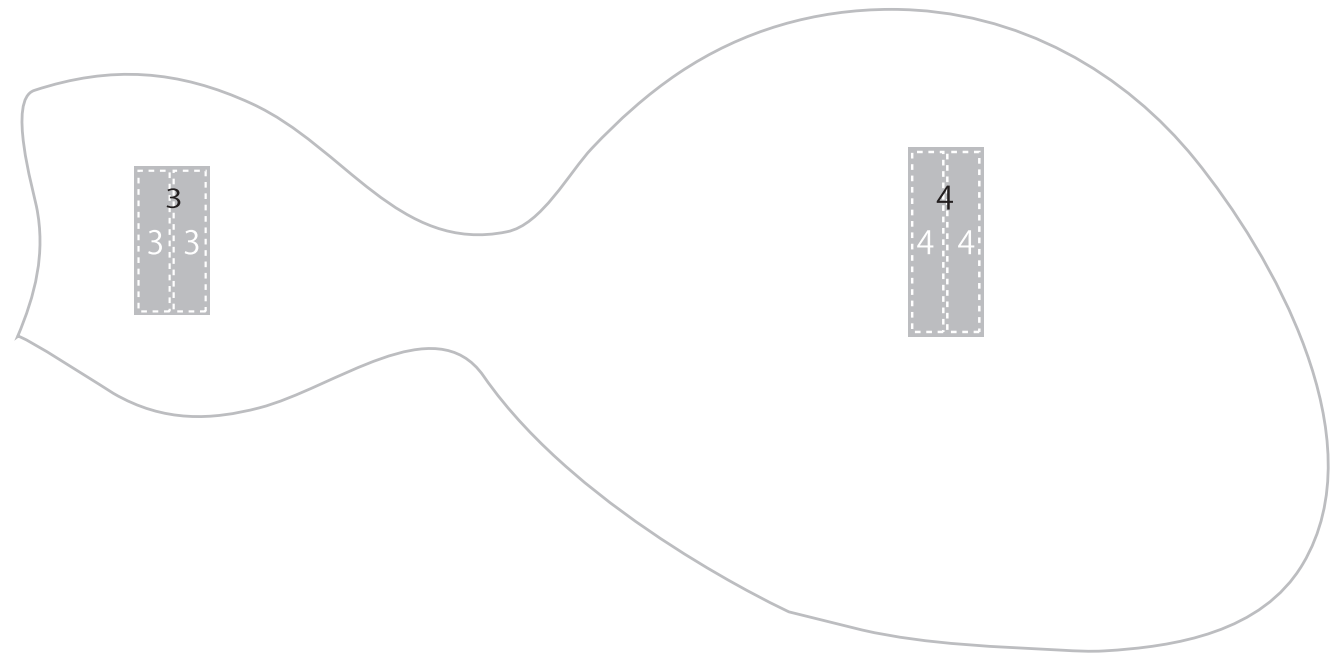
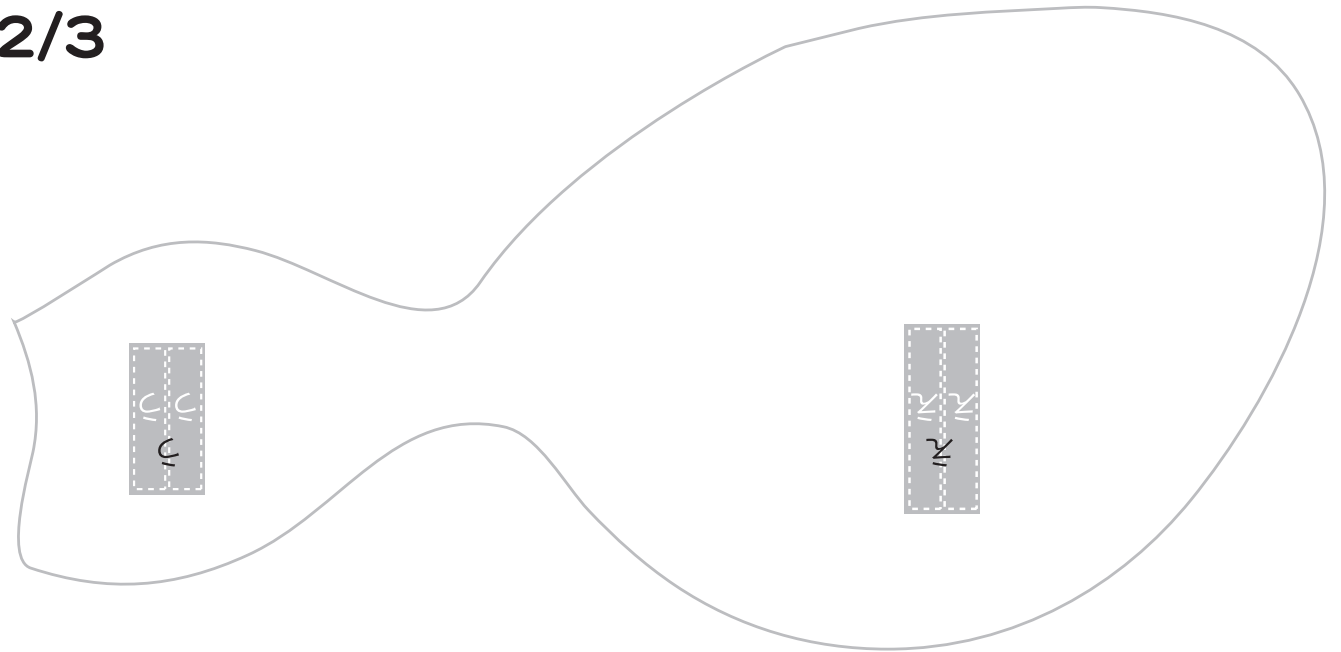
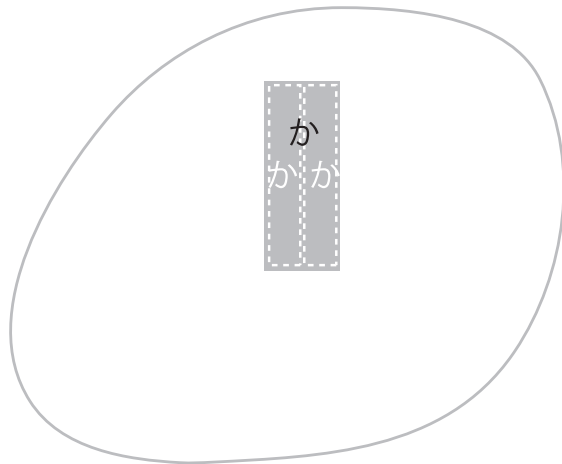
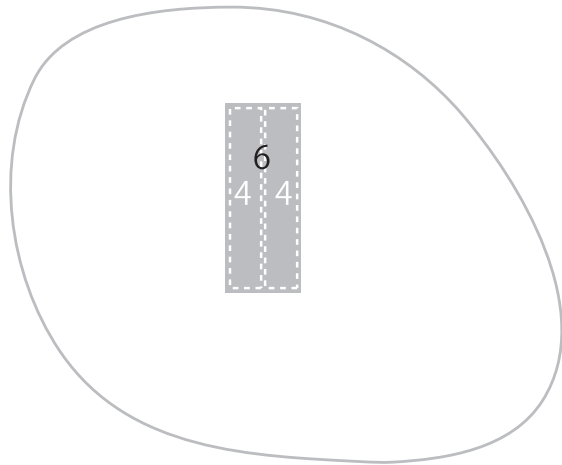


紙あそび：クロカタゾウムシ 1/3



- 切り取り線
- - - 山折り線
- 谷折り線
- のりしろ
- ⋯⋯⋯ 用紙の裏側に、立体部品の同じ記号部分をノリづけ

紙あそび：クロカタゾウムシ 2/3



紙あそび：クロカタゾウムシ 3/3

